

一之江名主屋敷

交通及び案内図

一之江名主屋敷（江戸川区春江町2-21-20）
JR総武線「小岩」駅から京成バス小76・葛西駅行（一之江経由）又は
スポーツランド行（瑞江経由）
*篠崎経由はとまりません。
都営新宿線「一之江」駅から京成バス小76 小岩駅行（一之江経由）
いずれも「名主屋敷前」下車2分。
都営新宿線「瑞江」駅北口から徒歩約15分です。
*名主屋敷には電話と駐車場がありませんので、御注意ください。



一之江名主屋敷で江戸時代を体感

一之江名主屋敷

ここは、江戸時代初めに一之江新田を開発した田島家の居宅です。江戸時代のまま現存する敷地は約2000坪。長屋門を構え、屋敷林や堀をめぐらしています。主屋は安永年間（1772～80）再建の茅葺きの曲がり家。昭和29年東京都指定旧跡、昭和33年都指定史跡、昭和56年には江戸川区登録史跡となりました。

平成元～4年に建物の復元修理を、平成10年に敷地景観を整備しました。平成17年春には、主屋の屋根を葺き替えています。ここは現在も田島家の居宅ですが、管理は江戸川区教育委員会がおこない、公開日には管理員を置いています。

四季折々の公開事業

一之江名主屋敷では、四季の移ろいとともさまざまな花や果実がみられ、小鳥のさえずりが聞こえます。月曜日と年末年始をのぞく毎日、午前10時開門から午後4時閉門まで、内部を公開しています。希望により管理員が解説もします。個人や小学校の社会科見学、史跡巡りなどの団体見学、地元中学校の職場体験を受け入れています。屋敷の囲炉裏端では、毎月1回、語り部ボランティアによる「昔ばなしの会」を開催しています。季節に応じた昔話や手遊びなどを、板の間の囲炉裏を囲んで楽しんでいただいています。また屋外では、梅の実の収穫、たなばた飾り、菊花展など、季節に応じた行事も開催しています。

昨秋は、江戸手打ちそば教室を主宰する伊藤正雄さんを講師とするそばうち体験教室、ボランティアによる竹とんぼ作り教室を開催。さらに、東京都指定無形文化財「葛西の里神楽」（東都葛西神楽保存会）を江戸時代さながらの雰囲気屋敷内で上演しました。

瞽女唄ライブの開催

さらに昨秋は初の夜間公開の試みとして、瞽女唄伝承者の月岡祐紀子さんを迎え、瞽女唄と三味線演奏の会「椿の里の瞽女唄ライブ」を開催しました。

瞽女とは目の不自由な旅の女性芸能者のことで、三味線の伴奏で民謡や祝い歌、段物とよばれる語りをきかせました。江戸時代から多くの瞽女が江戸川区の村々を訪れ、郷土芸能「葛西のおしゃらく」（東京都指定無形文化財、江戸川区登録文化財）にも影響を与えています。

一之江新田では、寛政12年（1800）を訪れているのが最も古く、以来宿泊費用を村費でまかっていた記録が明治まで残っています。はじめは名主の田島家を宿にしていたのですが、途中から数軒が順番に宿を提供。明治3年に至る70年間に、のべ330人ほどが一之江新田で宿泊しており、その半数以上が名主屋敷を宿にしました。昼間は近隣をまわって家の前や辻で演奏し、夜は宿で演奏会を開きました。「瞽女唄ライブ」は、江戸時代から明治まで続いた瞽女宿での演奏会の再現です。今秋も月岡さんを迎え、東京都文化財ウィーク企画事業参加の行事として開催する予定です。



屋敷畑跡は一部を芝生広場に



昨年秋の「瞽女唄ライブ」の様子

一之江名主屋敷の問い合わせ先

江戸川区教育委員会教育推進課文化財係
電話 03-5662-7176